

まちづくりの主体は市民

～情報公開を推進～

質

介護保険料や国民健康保険、行財政改革など多くの問題を抱えている。

市長のリーダーシップを発揮するために、市民の意見や諸問題の情報収集、情報発信をどのように構築するのか。

答

市長

地域における「協働による取り組み」は、各地域での諸問題を的確に把握し、問題解決に向けて熟議することが必要となります。

そのため、市民は市政に関する情報を知り、権利を有するとともに、行政は市政に関する情報について、市民との共有を図るため、市民の知る権利を保障し、開かれた自治体として情報の公開を推進しなければなりません。「協働によるまちづくり」においては、市民の皆さまへの情報提供ならびに共有化を図ることは、一番重要な柱となるものでありますので、今後はあらゆる機会や情報伝達媒体を利用して取り組んでいきたいと思っております。



ひろまさ 正宏
とうま 藤正
えい 衛

どうなる豊後大野市の農業

～安全・安心な豊後大野ブランドの確立に向け取り組む～

質

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）に加盟することによって、本市の農業はどのような影響を受けるのか。また、市としては今後、どう取り組むのか。

答

農業振興課長

本市で試算してみると、平成20年発表の農林水産統計を基にした影響額は、米については9億1千万円の減少、畜産については20億3千万円の減少で、特に米と畜産への影響が深刻な状況です。

また、交渉に参加しても詳しい情報が開示されないことから、現時点では正確な情報に基づいた具体的な影響を把握することが難しく、対策も示せないという状況で、TPPと今後の本市における農業のあり方について、しっかり議論することが必要と考えています。



後期基本計画の策定は

～指標および重点施策を見直した～



うち だ とし かず
内 田 俊 和

質 基本施策の方向性や目標などを再構築した内容となつているが、8つの政策目標を実現するために、前期基本計画の達成状況や評価点はどうか。

答 市長

前期基本計画においては、目標の達成度を測る指標が72項目あり、達成状況は30項目で、41・7%の達成率となつています。

評価点については、事務事業評価シートと整合性を図り作成していますので、事務事業評価で評価されたことが基本計画の評価となります。

後期基本計画の策定については、公募市民で構成された「まちづくり市民会議」や「市総合計画策定審議会」、「市議会全員協議会」などで審議をしていた。また、指標および重点施策の見直しを行い、最終的に平成23年度から平成27年度までの後期基本計画を策定したところだ。

食育の推進は

～関係団体と連携しながら推進する～

質

食育推進を施政方針の中で述べているが、いつ、何課で、誰を、どのように、どうするために推進するのか。また、食育を推進する課は、まちまちに推進をするのか。

答 市民生活課長

食育推進の主管課である市民生活課健康推進室において、平成21年度から平成25年度までの5年間を計画期間とする第1次市食育推進計画を策定しました。これまで家庭、保育所、幼稚園、学校、地域などで行われてきた取り組みを連携させ、関係部署が共通認識の上で横断的な推進体制を取り、関係する団体

と連携しながら事業を進めることとし、主な事業としては、健康料理教室や食育講演会の開催、食育アンケート調査、食育標語の募集などを行ってきました。平成25年度は、第2次食育推進計画策定の年であり、課題などを整理しながらよりよい計画の策定に取り組んでいきます。



中学生などを対象にした食育講演会